

# ベスト フレンズ

箭山如水会福岡支部便り

No.14



平成27年3月発行

## 箭山如水会福岡支部

支部長 前岡 正人

事務局 : 千813-0001

福岡市東区唐原3-9-2 城戸崎方

TEL 092-672-5764

編集責任者 城戸崎 重夫

### ■ 同窓会へのお誘い

支部長 前岡 正人 (30年機械科卒)

平成21年4月に中津商業高校と中津工業高校が発展的統合により新生「中津東高校」が誕生しました。それに伴い同窓会も合併し平成23年4月に「箭山如水会」が発足、福岡支部も同様に発足後、初代 大木敦夫支部長(昭和36年商業科卒)の下、昨年5月は第4回福岡支部総会を行うなど活動が続けてきましたが、この総会で商業系支部長から工業系支部長にバトンを引き継ぎ、二代目 福岡支部長に就任しました。福岡支部も役員の高齢化や総会参加者の減少など他支部と同様な問題があります。福岡支部においては、旅行会(年1回)や北九州支部と合同のゴルフ会(年2回)を行い友好を深めており楽しい会と参加者の評判も良いようです。初参加大歓迎です。さて、本年も第5回箭山如水会福岡支部総会が5月16日(土)に西鉄グランドホテルで開催されます。従来と同様、母校の校長先生はじめ同窓会本部、北九州支

部の各役員の出席を予定しており、それぞれの方々の最新情報が聞けるなど年一回の機会です。皆様の参加をお願い



いします。特に工業系の同窓会の総会参加者が少なく、昨年は6人でした。また本支部の役員は殆ど商業系の方で占めており運営を行っています。せめて半数ぐらいの工業系役員を期待したいものです。まずは総会に参加していただき同窓会を実感して頂きたいと思ひます。同期の方々をお誘いの上参加するなど期待しています。また若い方々も是非参加して頂きたいと思ひますし、総会のあり方の提案などを事務局に連絡して頂ければ幸いです。学校や同窓会本部・各支部の活動状況などの情報はホームページで入手出来ます。インターネットで「中津東高」「箭山如水会」名の検索で情報を入力して下さい。



#### 箭山如水会福岡支部の平成26年度活動状況

年月日	行事名	場所	参加者など
26年4月25日	第4回福岡・北九州支部合同ゴルフ会	福岡国際CC	19名参加(福岡支部より8名参加)
26年5月17日	第4回箭山如水会福岡支部総会	西鉄グランドホテル	42名参加
10月21~22日	嬉野温泉一泊旅行	嬉野温泉「旅館松園」	16名参加
10月25日	箭山如水会北九州支部総会	このみ倶楽部	福岡支部より6名参加
11月08日	箭山如水会本部総会(本部・支部合同会議)	グランプラザ中津ホテル	福岡支部より7名参加
27年1月24日	沖代会・役員会新年会	天神テルラ「花万葉」	17名参加

#### 箭山如水会福岡支部役員会

年月日	行事名	場所	参加者など
26年4月02日	総会準備打合せ	天神「さかな市場」	16名参加
6月17日	総会反省会及び旅行打合せ	天神「さかな市場」	13名参加
12月10日	忘年会・ベストフレンズ14号原稿依頼	天神「さかな市場」	13名参加
27年1月24日	新年会・役員人選	天神テルラ「花万葉」	17名参加

## 本部総会とサッカー一部募金のお礼

箭山如水会事務局長 木村 朋昭(40年機械科卒)

「ベストフレンズ」14号の発行を祝し、心よりお慶び申し上げます。また、平素より福岡支部の同窓会活動に対しましては衷心より御礼申し上げます。さて、平成26年(第4回)「箭山如水会」本部総会・懇親会が11月8日(土)グランプラザ中津ホテルにおいて、恩師等ご来賓、支部役員及び本部会員を含め総勢300有余名が出席して盛大に開催することができました。本年度の総会の当番卒生は工業系昭和48年、49年、50年、商業系が昭和51年卒を中心に実行委員会を発足し鋭意検討を重ね、総会の準備を重ねて参りました。折しも、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の影響で中津城を中心とした観光がクローズアップされていまして支部役員の方々には市内観光のご案内も致しましたご堪能いただけたでしょうか。なお、今回の懇親会のアトラクションに貴支部有志による南京玉すだれ、ひょっとこ踊りのすばらしい余興を出演いただき会に花を添えていただきました事に衷心より感謝申し上げます。今年の本部総会では、松永勇治前会長の任期満了に伴い常任委員の互選により工業系の松本邦男(42年土木科卒)が総会の承認を得まして新会長に就任しました。松永勇治前会長のこれまでの功績を継承しつつ、なお一層の努力を期待いたしますので会員皆様のご協力をお願いいたします。ところで、「第93回全国高校サッカー選手権大会」県予選準決勝戦が総会当日行われ高橋校長先生の挨拶の中で大分南高校に1:0で勝ち来週16日(日)情報科学高校に勝てば3

年連続出場です!との報告でしたが、当日の決勝戦で3:0という見事な勝ち方でこの夢が実現しました。出場決定にあたりましては母校で早速同窓会も含めた実行委員会を立ち上げ、全国各地の会員の皆様に募金協力のお願いをし多くの賛同を得ましたことに深く感謝申し上げます。短期間の募金活動でしたがご協力誠にありがとうございました。これまで平成21年の工業高校との混成チームでの出場を含めて新中津東高校として4回目の全国大会出場という快挙を成し遂げてくれました。しかしこれまでの戦績は初戦敗退という内容で1回戦の勝利が悲願でしたが今回の出場チームはバランスのとれたすばらしいチームとの前評判通り12月31日の1回戦対青森山田高校に1:1PK戦でこれを破り悲願の初勝利をし、1月2日の2回戦、奈良郡山高校に2:1で撃破、3日に3回戦ベスト8をかけて大阪履正社高校と対戦しましたが力及ばず1:5で敗退しましたが全国に母校中津東高校の名声を知らしめてくれた感じがしました。今回の大会で関東支部役員の方々には開会式から3回戦の応援活動まで年末年始にもかかわらずご尽力いただき大変お世話になりました。生徒達は4日夕刻JR中津駅に帰県し解団式を行い散会しました。この中で、山本主将の挨拶で「後輩達には全国制覇を目指してほしい」との力強いことばに後輩達の頼もしい歴史の一歩を感じました。箭山如水会も平成23年4月に発足以来丸4年を迎えています。本部も今後微力ではございますが、役員と本部運営の充実を図り、会員相互間の融和並びに各支部と連携をとり、母校の発展に協力していきたいと思っておりますので皆様のご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、福岡支部のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りしてお礼と報告の挨拶とさせていただきます。



松本邦男新会長



### 中津東 悲願の初勝利



光る守備先制点で主導権  
PK戦 小倉2本止める

## 関西支部便り

関西支部長 小倉 利幸(37年商業科卒)

福岡支部の皆様、ご健勝でお過ごしのことと存じます。関西支部も恒例の総会懇親会を平成26年5月31日(土)ネストホテル大阪心斎橋でご来賓4名(松永本部長、松本筆頭副会長、母校高橋校長、末次恵子様キングレコード専属歌手)をお迎えして総勢57名の集いで第3回目を晴れやかに開催することが出来ました。昨年にご存知の通りNHK大河ドラマの軍師黒田官兵衛により郷土中津では町おこしとして大変盛り上がり、観光客も予想をはるかに超えたそうですが泊まり客はほとんど福岡に取られたと聞き及んでおります。この官兵衛ブームにあやかり関西の同郷人として我々も盛り上がりたいため今年には記念すべき会で迎えたいと考えました。特別に趣向を変えるものではなく、支部会員が自らを印象に残る会に仕向けるとの意味合いで本会に望んで頂きました。つまり他力ではなく自分で宴を楽しむ事です。お陰様で例年になく懇親会も大変盛り上がり、お互いにしっかりと同窓の味をかみ締め合いながら宴を終えた支部会員はほろ酔い気分の足どりで余韻の覚めないうちにそれぞれが家路につかれたことと思います。又、支部の二つの部会活動は一昨年は台風で中止、延期されましたが昨年は両方ともに好天に恵まれて歴史探検ウォーキングは予定通り10月17日天王山、山崎合戦の舞台散策そしてサントリー工場見学を12名で決行することが出来ました。一方ゴルフコンペも予定通り11月7日茨木国際ゴルフクラブで老体に鞭打って青春に若返り4組で大いに汗を

流し楽しみました。斯様な部会活動により世代を超えて同窓生の絆がさらに深まりますので同窓会としての存在価値を少しでも高めていきたい所存です。そのためにも母校から全国大会で関西にも来られる部活を待ち望んでおります。尚、関西支部も運営資金の調達方法として本部支援金と合せて関西支部管内での同窓への関心の高い有志による会員制同窓会(年会費2,000円)に依存し昨年からは移行致しました。さらに一人でも多くの参加者を募るためにも本年からは総会懇親会を毎年5月最終土曜日、ゴルフコンペを11月第1金曜日、ウォーキングを10月中旬に致しました。最後に福岡支部の益々のご発展と皆様のご健勝とご活躍をお祈りしています。



協賛広告ありがとうございます

祝! ベストフレンズ14号発刊

顧問 梶屋 孝太郎 (26年商業科卒)  
福岡市東区名島 電話:092-662-0786

祝! ベストフレンズ14号発刊

顧問 苅北 正弘 (27年商業科卒)  
福岡市中央区笹丘 電話:092-711-8080

## 第4回 関東支部総会とサッカー応援!

関東支部 幹事長:花水 正平(32年商業科卒)

「ベストフレンズ」14号の発行を祝い、心よりお慶び申し上げます。当支部の第4回定期総会は、本部の松永勇治会長他役員と母校の高橋正直校長先生をお迎えして、平成26年9月14日(日)東京ガーデンパレスで56名が出席し、賑やかに開催しました。総会では、ご来賓の松永会長並びに高橋校長先生よりご挨拶を頂き、本部と母校の現況報告があり、前回のサッカー応援に対するお礼と卒業生の進路状況等の報告がありました。懇親会では、顧問の宿利公夫様と副会長の野中忠昭様よりご挨拶を頂き、松永会長・野中副会長より寄贈の「耶馬美人」を全員でお美味しく頂きました。イベントは衛藤省三さん(39年機械科卒)の大正琴アンサンブルによる見事な演奏が披露されました。恒例のカラオケ大会は、松永会長と高橋校長先生も歌い大いに盛り上げました。最後は、野球部OBの近藤清美さん(36年商業卒)が指揮をとり旧中津東校校歌を斉唱し、笑顔で散会しました。ご承知の通り母校のサッカー部は、3年連続で「第93回全国高校サッカー選手権大会」に出場しました。1回戦は、強豪の青森山田高校にPK戦で勝利し、2回戦は、奈良の郡山高校に逆転勝利し、3回戦は、惜しくも大阪の履正社高校に敗退しましたが、ベスト16に残ったことは快挙であり、心より祝福したいと思います。尚、1

回戦には100名の当支部会員が応援にかけつけ、中津の応援団と合流し声援を送りました。しかし、中津の応援団は1回戦後すぐ帰郷し、2回戦以降は、残ったサッカー部員や選手の父兄と一緒に頑張って応援しました。資金面に問題があるにしても戦っている選手の為に、本部の役員を中心に少人数でも応援に来て頂きたいと、強く思いました。終わりになりますが、福岡支部の益々のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、ご報告とします。



## 「嬉野一泊旅行」

中野 久米夫 (45年商業科卒)

10月21日(火)～22日(水)箭山如水会福岡支部は総勢16名で嬉野一泊旅行を雨の天気予報を心配しながらの出発。初日の一つ目観光地、鹿島で古くから酒造りが盛んな土地柄で知られる肥前浜宿酒造街道へ一つの酒蔵を見学説明を受けまして当地地酒「肥前蔵心」「鍋島」等あり、試飲が出来なかったのが心残り。二つ目は日本三大稲荷のひとつで江戸時代1687年創建で、総漆塗極彩色の壮麗な社殿で鎮西日光と知られる祐徳稲荷神社で「家運繁栄」祈り、当地合流の白仁田様を含め全員で参拝しましたね。三つ目の観光地大茶樹・不動山茶工場の予定でしたが案内人不在とのことで取りやめ、雨模様心配しながら今日の宿「旅館 松園」へ早めの到着でぬめり感ある温泉へ男性は車での酒盛り解消するために、女性はお肌がつるつるになるのを期待しながら全員入浴しました。いよいよ旅行のメインであります男性は飲むのを楽しみで女性は温泉での美肌を保ちながら、「宴会」へ仲居さんの運んでくる料理を食しながらアルコールが入ったところで「カラオケタイム」でアクシデント、機械の故障一時全員落胆。幹事としても旅館側も困っていましたが、救世主 参加者の高榎文好様(40年電気科卒)が修復して頂いて、無事鬱憤晴らすかの如く皆さんの数多く申込で歌えなかった方々には申し訳ありませんでしたが個々の美声が聞かれて本当に助かりました。改めて、高榎様 感謝致します。お蔭で仲居さんたちが酒の注文をつけ忘れたのか翌日の清算では安く上がり、幹事としては非常に助かりました……おそらく仲居さんも計画だったりして、その後二次会は幹事部屋で酒盛りをして楽しく飲みましたね。話は年齢のせい「来年来れるかなあ」乱発……来年再来年と足腰を鍛えて是非参加など尽くせぬ話をしながら就寝。翌日の朝食での「おはようございます」の次の第一声は「朝風呂はいいなあ」「よく眠れた」「いびきで眠れなかった」誰でも飲んだ時は特に「いびき」を掻きますので来年からは防御対策で「耳栓」等事前準備を幹事からも宜しくお願いします。二日目朝早くより雨模様ではありましたが全員、元氣よく出

発・観光地有田ポーセリンパークへ、このパークのシンボルは18世紀初頭のドイツ・バロック建築の華と言われた建造物ツィンガー宮殿を中心とした広々とした庭園と江戸幕末から明治初期の美しき器「有田焼」が展示されていました。運転手が今日最後に訪れる武雄物産館で購入した方が、申し添えましたがやはり旅行の楽しみでしょうか、ここで「二合徳利」「ぐい?み猪口」買われる方……情緒を楽しむ方ですね。店員から「ここでしか売っていない」と言葉巧みに騙され、女性は相も変わらずお菓子中心お土産たくさん買っていましたね。次は有田焼の製造・販売で知名度ある丸児商社で高価な器・飾り壺・宝飾品等が沢山あり皆さん選ぶのが大変でしたね。又、皆さん単独で有田方面行かれる際は是非見逃した商品を購入されてはいかがでしょうか、旅行最後の昼食とお土産のある武雄物産館で昼食までの時間、一般の食料品から沢山お土産売り場がある試食コーナーへ次々巡回していましたね。店員のすすめでまたまた沢山お土産買ってバスに積み込む人もいましたが幹事としては最終博多駅から自宅まで持って帰るのが心配で……昼食でアルコールも入り、途中パーキングエリアで2回ほど休憩して今回の楽しい旅行も無事終わりました。来年はどんな旅行になるかを楽しみに筆をおきます。



協賛広告ありがとうございます

「箭山如水会」に乾杯!  
中津東高同窓会関東支部  
幹事長 花水 正平(32年商業科卒)

祝!ベストフレンズ14号発刊  
副支部長 中野 久米夫(45年商業科卒)  
糸島市 電話:092-324-8640

## 北九州支部総会便り

北九州支部長 成重 欽吾(39年商業科卒)

福岡支部会員の皆様、ご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。「ベストフレンズ14号」の発行を祝し、心よりお慶び申し上げます。

北九州支部は、去る平成26年10月25日(土)に第3回「箭山如水会北九州支部総会」テーマ「広げよう同窓の絆」で会場を「このみクラブ」(小倉北区許斐町、西小倉駅より海側に徒歩5分)の場所に於いて参加者約70名で開催致

しました。これも中津本部・福岡支部役員、及び会員の皆様のご協力により盛大に開催されました事に感謝致します。懇親会の出し物は毎度お馴染みの小倉名物「小倉祇園太鼓」に始まり「カラオケ競演」「ビンゴゲーム」と大いに盛り上がり会員皆様、和気藹々の中、昔の思い出話に花を咲かせながら楽しく総会が無事終了出来ました事に心よりお礼申し上げます。



今回から、40才以下の会員で総会初参加の方に限り参加料金を半額の試みで、会員2名の初参加が有り嬉しい限りでした。これからもこれを継承して参りますので新規会員の参加をお待ちしています。又、平成27年1月23日(金)18時より、総会の慰労会と新年会(27年度の打合せ)を兼ねて酒を酌み交わし、カラオケ等で役員相互の親睦を深めました。今後も本部、支部会員の皆様方のご支援ご協力をお願い致します。

## 第4回福岡・北九州合同ゴルフ会

このゴルフ会は、合併前の箭山会の時から継続されている会を引継ぎ運用しており、現在の世話役は、会長 瀬口巖(北九州)、世話人 荒川員允(北九州)、杉本登(北九州)、前岡正人(福岡)の4人で行っています。開催は春秋の年2回、原則として春はゴルフのみ秋はゴルフと夜は懇親会の1泊ゴルフ会となっています。

現在の会員は、福岡支部16人、北九州支部15人の計31人、昭和22年卒業の会員から昭和50年卒業の会員まで幅広い構成となっております。同窓会の目的である「親睦」に有意義な会です。さて、第4回のゴルフ会は、平成26年4月25日、「福岡国際カントリークラブ」で行いました。参加者は19人、5組となり盛会となりました。この日は高気圧に覆われ

た快晴の中、絶好のゴルフ日和となりました。グロススコア80台の方が2人出るなど年齢に関係なく楽しいゴルフが出来まし



した。この日の成績は左表のとおりです。参加人員も増加の傾向にあります。新会員の入会大歓迎です。ゴルフは高齢になってもプレイする方が沢山います。健康と元気をゴルフでキープしましょう。第5回の合同ゴルフ会も9月24日に1泊で計画しました。玄海ゴルフ倶楽部で6組21人参加予定者が有りましたが、丁度台風16号が接近中で当日はかなりの影響が予想されたため中止となりました。準備万端整った状態でしたので非常に残念な思いをしました。今年4月には第5回合同ゴルフ会を実施予定です。多数の参加を期待しています。

### 第4回合同ゴルフ会

年月日	H26年4月25日
ゴルフ場	福岡国際C C
参加人員・組	19人、5組
優勝	用正昭則(北九・34年電気科卒)
準優勝	前岡正人(福岡・30年機械科卒)
三位	杉本 登(北九・34年冶金科卒)

## 第4回福岡・北九州合同ゴルフ優勝の弁

用正 昭則(34年電気科卒)

ゴルフコンペに参加でき、たまたまですが優勝する事ができ嬉しく思っています。優勝できた事以上に私にとって嬉しい事は、コンペに参加でき、同級生と一緒にゴルフができる事です。高校を卒業して55年経ちますと、それぞれの事情又住所も離ればなれの為、4人一緒になれるチャンスはなかなかありません。会えばゴルフの出来る境遇を喜び会い、球探しに時間を費やし電卓の欲しいスコアですが、一緒にプレーしながら高校時代の苦い思い出から、現況(体調の話が多い)また過去の仕事、孫の話、他の同級生の

消息等、話は尽きず楽しいひと時を過ごす事が出来ました。このような機会を作りお世話をして頂いた幹事又諸先輩の方々にお礼申します。今後も体力の維持向上?に努め練習に精進?して、いつまでもコンペに参加したいと思えます。箭山如水会の今後の発展と皆様のご健康をお祈りしています。また今度会える日を楽しみにしています。



協賛広告ありがとうございます

箭山如水会福岡支部ゴルフ会  
顧問 久恒 喜成 (22年商業科卒)  
福岡百道浜 電話:092-831-2989

箭山如水会 福岡支部  
支部長 前岡 正人 (30年機械科卒)  
筑紫郡那珂川町 電話:092-408-7736

## 同窓会との出会いと今後の課題

本部副会長 茶屋 博利(40年電気科卒)

「ベストフレンズ14号」の発行を祝し、心よりお慶び申し上げます。福岡支部会員の皆様、ご健勝でお過ごしのことと存じます。私と同窓会の出会い・・・同窓会運営の今後課題について独断と偏見ではありますが少し触れて見ました。「自主的に初参加しないのが同窓会」センセーショナルな表現ですが、果たして現在同窓会の活動に拘わっている方々の何割の人が自主的に拘わり始めたのでしょうか?「物事には須く何らかの動機がありますが・・・」今から遡って50年前のことですが、社会人1年生で入社年の半年過ぎた頃、上司から「君を訪ねて来ている他の部門の人がいると紹介されました」その方は中津出身で東高校の卒業生、所謂先輩とのことで、「部門は違うが何か心配や困ったことがあれば何時でも相談に来よう」と言われ心強く感じたものでした。その会社は「栗田工業株式会社」当時大阪・東証一部上場の水処理のパイオニアとして成長している会社でしたが中津東高校からはまだ誰も入社していないので本校からの先方として「後に続く求人があるように真面目に頑張れよ!」当時担任だった自見育司先生に激を頂いた思いがあります。先輩がいない筈なのに・・・その先輩は大学に進学して学卒入社だったからです。とにかく入社一年目から多忙を極め関東・東北一円を飛び回り悩や心配ごとを考える暇の無い毎日でした。そうこうして三年目の春の緊急異動で東北支社への転勤、一年間の勤務で東京本社へ戻りましたが、家庭の事情で四年半の勤務で退職を余儀なくされ帰郷、その間出会った先輩に諸々の話をするのも一度も無いままでした。実は私の記憶の中には、在学中、そして社会人になってから十数年間「旧中津東同窓会(如水会)」言葉を耳にしたり目にしたことがありませんでした。その様な組織の存在すらも知らないかった様な気がします。帰郷後、義兄(姉婿)が東高校の卒業(学卒)福岡県庁に奉職して県の出先(行橋市)に勤務の関係で

(吉富町在住)誘われて初めて「定時総会」に参加したものです。当時会長は故人の和知不二男氏で会場は福沢通りの角地にあった「はすみ亭」だったと思います。印象にあるのは、オッサンばかりの集りの会だなど!!それから二十数年間(7年間愛知県東海市在住)どこからも声が掛ることがありませんでした。ある年、私の義弟(当時母校の教員で本部事務局の手伝いをしていた)大石在男氏からの誘いで北九州支部の定時総会に参加するはめになり、マイクロバスでの送迎でしたので、帰りの車中で当会計担当されていた中尾正博先生に懇願され会計監査役をお引き受けしたのが運のつきで今日に至っている次第です。ままとりの無い昔ばなしをしましたが、帰属意識の薄らぐ昨今、会員の行事参加減少で各支部は頭を痛めておられます。



- 1、在学中、あるいは卒業時に「同窓会箭山如水会」を明確に認識してもらうこと。
- 2、卒業後の連絡先、連絡手段がほしいものです。(個人情報保護法なるものがありますが)
- 3、先輩諸氏と後輩諸氏情報の共有化。
- 4、機会あるごとに横の連絡を取り合う。

後輩に今日のサッカー部のように全国大会等で活躍をして団結すべき要素を創りだしてもらおう。このような地道な活動で連携を強めていけたらと思います。他に妙案がないものか?最後になりましたが福岡支部の益々のご発展と会員皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

## 秋の叙勲 中井さん(S30年機械科卒)

前岡 正人(30年機械科卒)

私は那珂川町に住んでおり、我が家から100メートルほどの処が中井 正明君の住まいである。昨年暮れにうれしい話を聞きました。秋の叙勲で東京まで行ったとのこと、我が同期の者としても誇らしい話題であり是非皆さんに紹介したいと思いベストフレンズの掲載のお願いをいたしました。昭和30年卒業時は不景気で就職難でした。従って、同期の方々はいろいろな職業に就職しています。中井君は昭和30年に「福岡県巡查」となり、警察畑に入っています。その後「福岡南警察署長」「警察庁九州管区警察局長」「福岡西警察署長」「福岡中央警察署長」などを歴任。平成9年には「警視長任命」となってい



す。勲章には春秋叙勲があり、秋は11月3日付けで授与されています。また配偶者同伴で天皇陛下に拝謁することになっています。この制度は明治8年4月に「勲章従軍記章制定の件」(太政官布告)が公布されたのが発端となっており、下記写真にある賞状の左端番号(第12646683号)は当初からの「通し番号」となっていることは驚きである。種類は「大勲位菊花章」「桐花大受章」「旭日章」「瑞宝章」があり、中井君は「瑞宝章」のうち「瑞宝小綬章」を授与されており、授与対象者は「公務等に長年にわたり従事し、成績を上げた方」となっている。その経歴に示すとおり実績・成績が認められたものと思います。私たち同期の者は「おめでとう」と拍手をおくりたい。



協賛広告ありがとうございます

祝! ベストフレンズ14号発行  
副支部長 小関 昭太郎 (33年商業科卒)  
福岡市城南区 電話:092-861-0607

ニードラゴン洋菓子店  
笠木 智恵子 (31年商業科卒)  
別府(流川店,東荘園店) Tel0977-24-6045

# 「不思議な体験」

花田 義富(37年商業科卒)

平成26年暮から27年新春にかけて、母校中津東高校のサッカー部が大分県代表として全国大会3年連続出場。第1回戦では強豪青森山田高校を破り、2回戦も勝ち抜き3回戦では敗退するも大健闘して16強入りを果たした。良くやった、夢をもらった。おめでとう!とその健闘振りが称えられとても明るい年の幕開けとなりました。

私は6人兄弟姉妹の3番目、一番上の兄とは5学年違いで、一番下の妹とは10歳違いです。姉を除きみんな東高にお世話になりました。皆育ち盛りの頃、父が戦争後遺症で入院加療をしていたので、母の細腕にすがって生活をしていました。母は行商を生業にし、子供たちを高校へ通わせてくれていました。兄は高校に通う3年間、母の行商の手伝いをしながら通学し、部活にも精を出し卒業した。母が休まない限り自転車で商品(魚・えび・昆布などの塩乾物約20キロ)を、今日は四日市法鏡寺・上田方面へ明日は高森・宇佐方面へと運んでから、一旦家に帰って勉強道具を抱え徒歩で柳ヶ浦駅へ向かい汽車通学をしていた。母は朝4時ごろ起床し徒歩で行き、荷物運びは5時には家を出ないと学校に行く汽車には間に合いません。兄が卒業し一早く就職してからは、私が兄の代わりの生活パターンを引き継いで、母の荷物(商品)の運び屋をさせられた。



当時は”した”とかの思いは無く、本音のところさせられたのです。高校一年生にしては体もほんに小さく、足も短かった私は自転車には「三角乗り」が精一杯で、荷物などとても積んで行けないのに、荷物運びの大役を受け継いだ。

しかし、ここからが何とも不思議な体験談になります。先にも書いた通り約20キロの塩乾物を荷物用のごつい自転車で積んで、三角乗りで家を出たある日の事です。よろよろしながら川辺の集落のとぎれた辺りのカーブした路上でこけてしまった。朝5時過ぎ頃のことです。未だ薄暗い中、左手には駅館川(やっかんがわ)が大

きく弧をなして流れていて人っ子ひとりも、家も無く、車一台もいません。右手には石屋さん(墓石を作るところ)が有るだけの所でした。転んだけれどうまく倒れたので、ちょっとすりむいただけで大きな怪我はしていませんでした。しかし積んでいた20キロ程の荷から漬けアミ(えびのちっちゃいのを塩漬けたもの)の袋が破れて、中身が濡れ路上に流れ出していました。自転車を起こすにも体のちっちゃい私は起こすことが出来ませんでした。未だ明けやらぬ田舎道です。だあれも通りません。もう悔しいやら情けないやら、座り込んで泣いていました。母は荷物が着かないと商いが出来ないし、私は学校へ行く汽車に間に合わなくなるし・・・などと悪いことばかり考えていて、しゃがみこんで泣いていたところ、右手の石屋さんの裏手からすっと自転車で乗ったおじいさん(とその時は思ったけど)が通りがかり、私の傍まで来て何も言わずに荷物を積んだままの自転車を起こしてくれました。その時はもう無我夢中だったので「ああ助かった!」と、また転ばぬようにしながら三角乗りで母と合流する予定の上田の校長先生宅へ急ぎました。



あとで助かったことを思い出して、何とも不思議なことだったと思ったことです。朝未だ明けやらぬ川淵の道で、スーッと現れて、何も言わずに助け起こしてくれた方。家も辺りには無く、墓石をつくる石屋さんがあるだけだし、早朝のことなので人気はありません。そういえば両親は空海和尚(弘法大師)の真言密教を信奉しており、その川辺道場が近くに有り時々一緒にお参りに行っていました。空海和尚のお弟子さん(広海和尚)のお墓が自転車で倒れた近くの河川敷に有ります。広海和尚は仏様のような方で、「仏(ぶつ)さん」と呼ばれていましたが、その仏さんがあなたの名付け親で、小さい時にはよく可愛がってもらったよ。ひょっとすると仏さんが出て来て助けてくれたのではないの?と母の後日談であります。あれは「仏さん」のはからいであつたのだろうか。仏縁なのか、窮地に在った私を救って頂いた、とても不思議な忘れぬ青春の体験で有りました。

# 「吉富中学校卒業50周年 同級会」

相部 喜久代(43年商業科卒)

吉富中学校を昭和40年に卒業してもう~50年、その記念行事として2014年11月23日(日)グランプラザ中津ホテルに於いて同級会が開催され



ました。葉書送付数は136枚、参加者数は40名にもなり、遠くは神奈川、京都、熊本、山口方面から駆け付けた友もおり、50年振りの再会を終始笑顔で喜び合いながら会場には「話の花」がいっぱい咲きました。



一学年/二百数十名ほどの人数でしたので直ぐに判る人と、面影の少ない人と二極化。自己紹介もありましたが記憶の糸を探すのに時間を要する場合もありました。65歳という年齢は”健康と孫”のお話になるものですね。お孫ちゃんの写真をご披露する優しい「じいじい」もいらっしやり、微笑ましい限りでした。また恩師である、理科の八坂先生、そして国語の熊谷先生をお招きし、楽しい一日を過ごさせていただき、次回は一泊泊りの温泉でみんな元気で再会しようと約束し別れを惜しみつつ閉会しました。

協賛広告ありがとうございます

西日本工業大学 ソフトテニス部  
監督 守口 澄良(34年商業科卒)  
築上郡吉富町 電話:0979-22-7204

(有)江副商店 畳・襖・障子張替  
ごろ寝サポート 江副 節子(34年商業科卒)  
福岡市早良区原 電話:092-871-5253

# 平和台物語 (後編)

中井 正明(30年機械科卒)

昨年のNHK大河ドラマ軍師官兵衛の舞台となった福岡城跡は、明治維新後我が国の近代化につれ、その形も様々に変貌を遂げてきた。現在は、国の史跡に指定され、平和台公園として、早春には梅見、春には花見と大変な賑わいを見せている。今回はその姿を時代を追って紹介することにしたい。

●歩兵二十四連隊。黒田の治世も終わり明治維新後福岡城には一時県庁がおかれたがその後は陸軍の兵営となっている。ここでは新兵さんがしごかれることになるのであるが、この二十四連隊の練兵場は九州で初めて飛行機が飛んだ所である。時は大正元年十一月十七日、奈良原三次製作の鳳号であった。最初は七百メートルの飛行であった。この二十四連隊の起こりは小倉の歩兵第十四連隊第三大隊が福岡城の分営に移されたことによるものである。さらに連隊の特徴は突撃型の隊ということであった。日清戦争のときの旅順攻撃、日露戦争の時の蛤蟆塘における牧沢中隊長の死闘などによってその勇名は全国に轟いている。戦争が終わった後、兵隊屋敷の城内は放置されたまま草が生い茂っていた。まさに夏草やつわものどもが夢の跡であった。

●平和台競技場。兵営の跡は、市民運動場として開放された。昭和二十三年完成した競技場は、当時我が国三番目のアンツーカーグラウンドである。命名は公募の結果、平和復興のシンボルとして「福岡平和台総合運動場」と決定された。この年の十月二十九日、第三回国民体育大会が開催された。本大会に於いては画期的な三大特色があった。

一つは初の大会旗リレーが行われたこと、

二つは天皇杯、皇后杯が下賜されたこと、そして

三つは占領軍によって、始めて国



旗掲揚と君が代斉唱が正式に許可されたことである。陸上競技場は市民にも数多く利用されているが、メインイベントは何とんでも毎年十二月の第一日曜日に開催される福岡国際マラソン選手権大会である。その前身は朝日マラソンで、一年を締めくくる世界で最も重要なマラソンレースである。大会では常に世界のトップランナーによる手に汗握る白熱したレースが展開された。瀬古、中山、新宅、ジュー・イカンガーといった顔ぶれが優勝を獲得している。

一方、国体のサッカー場跡には先にも述べたように平和台球場が設置され西鉄ライオンズの槍舞台となった。三原監督率いるライオンズは、中西、大下、豊田、稲尾などの名選手を集めて昭和三十一年から三年連続して日本一に輝いた。特に昭和三十三年の日本シリーズでは、三連敗のあと四連勝というプロ野球史に残る大逆転劇をみせ、ファンを狂喜させた。平和台はまさしくスポーツの殿堂と



して、平和のシンボルとなったのである。

福岡城跡も一新し、昭和三十三年の史跡に、四十六年には国の重要文化財に指定され、現在は史跡公園となり、桜の名所となり市民の憩いの場となっている。

●幻の遺構発見ー鴻臚館。昭和六十二年十二月末、地元新聞の一面トップは「甦るロマン古代の交流」と題して大々的に報道した。この地は福岡城の築城以来三度の大土木工事により、もはや鴻臚館は幻の遺構とされていたからである。しかしはからずも平和台球場の外野スタンド改修工事に伴って、忽然と姿を現し甦ったのである。

鴻臚館が文献上に登場するのは、平安時代に入ってからだがその前身と考えられる「筑紫館」はすでに日本書紀にあらわれている。遠の朝廷と言われた大宰府。その大宰府の鴻臚館は、外国の賓客を応対宿泊させる施設で、古代中国では迎賓館を鴻臚寺と呼んでいた。鴻臚とは「鴻声臚伝」の略、賓客を迎える際に大きな声を出して伝達する、「伝声賛導」の意味であり、また賓客を応対する国の役人を指した言葉でもあった。鴻臚館は、古代の難波(大阪)平安京(京都)と大宰府

の三カ所に設けられていたが、三館の中でも一番長く存続し、しかも全国で初めて遺構や礎石などが発掘されたのは大宰府の鴻臚館である。現在も発掘作業は続けられており、礎石に加えてオリーブグリーンに輝く青磁花文椀及び白磁などが次々と出土した。さらにイスラム系ガラス片、イスラム系陶器片……。特に日本で初の発見出土品である「大泉五十」(中国新の時代の貨幣)は、いつのどのようなルートを経て、この遺構にたどりついたのかその謎にロマンが満ち溢れている。



## 川 柳

横松 眞一(40年商業科卒)

- ・ クセがないのもこの味はクセになる
- ・ 美人の湯来たがいまだに帰れない
- ・ 俺シラガ妻はムラサキ娘はチャイロ
- ・ 足のツメ切れぬ靴ヒモ結べない
- ・ パソコンの商店街を散歩する



協賛広告ありがとうございます

### 箭山如水会 福岡支部

筆頭副支部長 大木 敦夫 (36年商業科卒)  
福岡城南区 電話:092-861-5053

### 祝!ベストフレンズ14号発刊

中野 猛 (34年商業科卒)  
福岡市東区奈多 電話:092-607-1119

# 三八会(サンパチカイ)喜寿同窓会

市丸 幸子(31年商業科卒)

中津東高校 昭和31年卒業 第38回生 通称“三八会”の喜寿同窓会が昨年11月25日・26日に行われました。別府・臼杵への一泊二日の旅です。関東・関西からの参加者もあり総勢44名が集り宿泊先“ホテル山水館”で喜寿同窓会の大祝賀会が開催されました。記念撮影後、



ご馳走を頂きお酒をくみ交し思い出話に花が咲き次から次へと懐かしい話の輪が広がっていきました。お互いに白髪やシミ・シワも忘れさせ気分は60年前の高校生、青春時代にタイムスリップしていました。宴は延々と続き日本舞踊・フラダンス・ひよつとこ踊り・カラオケ・大正琴の演奏とさまざまな特技が披露されました。最後は全員輪になって肩を組み大正琴の演奏で“高校三年生”や“校歌”を歌い大盛り上がりで終演しました。



2日目はバスで臼杵観光へ、国宝臼杵石仏や南蛮文化香る城下町をガイドの案内で街並みを探索し楽しい思い出が沢山出来た2日間でした。それもこの喜寿同窓会を企画し色々とお世話して下さいました幹事の方々のお陰だと感謝しています。これからの人生健康が何よりの“宝”です。お互いに元気で“傘寿で又お会いしましょう!”と笑顔で名残りを惜しみ乍らそれぞれの帰路につきました。

# 熊本よりー加藤清正の実像

森 正明(45年土木科卒)

1.はじめに/ 熊本といえば、熊本城。熊本城といえば、加藤清正。しかし、地方の一領主に過ぎず、2代目で改易された大名が何故?加藤家2代後の熊本城には細川家が入り、幕末まで続いたのに、清正なのだ。城内にある神社も清正神社、城の入口で迎える像も清正である。

2.清正の熊本入り/ 熊本は、古くは隈本と表記されていた。清正の隈本入りは1587年。秀吉の九州攻めの際。しかし、その時の清正配下はたったの170人。約8万の秀吉軍の後備(うしろそなえ)としてであった。後備を任されるのは信頼の大きさではあるが、勇猛果敢なイメージとは異なる。薩摩攻めでも目立った軍功は見られず、宇土城の守備に就いた。戦後は、年貢収納などを行っていた。つまり、実戦でも後方の備であり、その後は戦後処理を担っていたのだ。そんな清正が肥後半国の領主となったのが1588年。薩摩攻めの翌年である。薩摩攻めの後、肥後を治めた佐々成政は、地元衆の反乱に合い半年で失脚。大坂に呼び戻されて切腹になる。そんな肥後の北半分を清正が領することになる(南半分は小西行長)。清正の領主抜擢は、九州入りしてからの肥後の国衆とのかわり、成政への反乱の鎮圧などに功績があったほか、実質的に肥後を統治してきた実績が評価された結果という。この時、肥後半国は19万石。それまでの清正の領地は4200石。約45倍の石高となる大抜擢であった。その後、関ヶ原での西軍敗退を受けて、肥後54万石の大名となる。



3.実は優れた行政マン/ 九州入りする前の清正の武勲といえば賤ヶ岳の合戦くらい。いわゆる7本槍の一人である。その後の清正は、主計頭(かずさのかみ)としての播磨国(5000石)を治めた記録が残る。その前にも和泉国で、ま

た、肥後入り後も、讃岐国で主計頭に就いている(讃岐国の主計頭清正は肥後在住のまま、実際は家臣を派遣していた)。いわゆる、財務畑の人である。大阪から乗り込んできた清正が、武力集団である国衆たちをなだめ、成政への反乱を鎮め、年貢収納を行うことは大変な仕事。清正はそれができ



る優秀な行政マンであったのだ。朝鮮出兵後、肥後国に戻った清正は、年貢や労働諸役を2~3年猶予する、というふれを出し、戦や使役に駆り出された農民などへの配慮を見ている。

4.清正信仰/ 10代の頃から秀吉に仕えた清正は、豊臣家への忠誠心が一際だった。秀吉亡き後の秀頼に対しても同様であり、熊本城には、秀頼を迎える場所を用意していたほどである。しかし、天下分け目の関ヶ原では、清正は東軍に与した。九州において西軍諸国を牽制。南の小西領や北の柳川領などを攻め、福岡藩の黒田官兵衛とともに島津攻めもした。関ヶ原後は徳川の時代。一大名となった秀頼が家康と会見する際、清正は徳川方の出迎え役の御供として記録に残る。しかし、家康との会見を終えた秀頼を饗応したのは清正の屋敷。秀頼の大阪までの帰途は清正が護衛したという。清正はこれが最後の大事となり、肥後国への帰途に発病し、死去。毒殺説もあったが、脳内疾患とするのが定説という。肥後国づくりを行い、家康に、秀頼に忠義を尽くし、疲れ切った清正ではなかっただろうか。そんな真っ直ぐな姿が、今も残る清正信仰の源泉なのだろう。

# 編集後記

城戸崎 重夫  
(40年商業科卒)



ベストフレンズNo14号をお届けします。

皆様方のご協力によりベストフレンズNo14号を発行することができました。寄稿頂いた会員の皆様及び役員各位の賛助広告には厚くお礼申し上げます。ベストフレンズは箭山如水会員同士の活動情報誌として、大きな役割を果たしています。これからもベストフレンズが箭山如水会の情報発信元となり、更に充実した情報誌として一人でも多くの会員の皆様にご拝読頂ける様、取り組んで参ります。

協賛広告ありがとうございます

祝!ベストフレンズ14号発刊  
監査 市丸 幸子 (31年商業科卒)  
福岡東区 電話:092-671-2775

経営のパートナー 税務・経理支援  
代表 城戸崎 重夫 (40年商業科卒)  
福岡東区 電話:090-4581-7676